学校番号	２１２

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年	３年
類型等	共通						
使用教科書	「高等学校改訂版古典Ｂ（古文編・漢文編）」（第一学習社）						
副教材等	完全頻度順入試対策ベストセレクション古文単語 325［改訂版］ 古典常識も学べる新明説総合古典文法 古典常識も学べる新明説総合古典文法ノート 精選漢文～重要な句法と語彙を学ぶ～ シグマベスト　大学入試最新国語頻出問題 トータルサポート新国語便覧「新訂総合国語便覧」 共通テスト国語対策問題集［標準から実践へ］古典編　三訂版 シグマベスト　リテラ速読レッスン古文 vol.3 シグマベスト　リテラ速読レッスン漢文 vol.2						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３年の「古典Ｂ」の授業では、１年次・２年次で学習した古文の基礎（文法・単語・古文常識）と漢文の基礎（文の構造・語彙・句形）を発展させ、初見の文章に接しても応用の利く読解力を身につけることを心がけましょう。また、長い時間を経て読み継がれてきた古典作品に接することで、自分のものの見方や感じ方を深め、人生を豊かにできることを感じて欲しいと思います。そのために具体的に以下の学習に取り組んでください。

・本文写し、音読、重要語句の意味調べ、品詞分解、現代語訳などの予習をしておく。
・作品の背景、文学史についての知識を身につける。
・場面設定・登場人物設定・古文常識を理解し、文構造・文章構成に注意して本文を読みすすめる。
・文法事項（古文）・基本句形（漢文）を反復学習し、読解力につなげる。
・小テストはしっかり準備をして取り組み、知識が定着するように復習する。
・便覧を用いて関連した事項を調べ、知識・関心を広げる。
・宿題や提出物などは期限を守り、定期考査には計画を立てて臨む。

2　学習の到達目標

・古文・漢文の読解力を養う。
・古典作品に接することでものの見方、感じ方、考え方を深める。
・伝統的な言語文化に対する興味・関心を持ち、積極的に読もうという意欲を持つ。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古文、漢文を正確に音読し、内容を的確に読み取ったり、その価値を考察したりして自分の考えを深める。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察（学習活動における発言内容や取り組みの様子。） ・記述の確認、分析（ノート、プリント、学習課題）	・行動の観察（学習活動における発言内容） ・記述の確認（ノート） ・小テスト ・定期考査	・記述の確認（ノート、プリント、ワークシート） ・小テスト ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	d	e		
1 中間	説話・日記	『発心集』 「叡実、路頭の病者を憐れむ事」 『蜻蛉日記』 「うつろいたる菊」	○	◎	○	a:課題に取り組んでいる d:主張・心情を読み取っている e:文法理解のもとに適切な現代語訳ができる	a・d:行動の観察及び記述の点検 e:小テスト及び定期考査
1 期末	逸話・史話	『説苑』 「不顧後患」 『戦国策』 「唇亡歯寒」	○	◎	○	a:課題に取り組んでいる d:文章の展開を理解する e: 句法理解のもとに適切な現代語訳ができる	a・d:行動の観察及び記述の確認 e:小スト及び定期考査
2 中間	物語・評論	『源氏物語』 「紫の上の死」 『無名草子』 「清少納言と紫式部」	○	◎	○	a:課題に取り組んでいる d:登場人物の関係、行動、心情を理解する e: 句法理解のもとに適切な現代語訳ができる	a・d:行動の観察及び記述の点検 e:小テスト及び定期考査
2 期末	近世小説・物語	『雨月物語』 「浅茅が宿」 『大鏡』 「最後の除目」	○	◎	○	a:課題に取り組んでいる d:登場人物の関係、行動、心情を的確に読み取っている e:文法理解のもとに適切な現代文語訳ができる	a・d:行動の観察及び記述の点検 e:小テスト及び定期考査
3	物語・随筆	『栄花物語』 「兼通と兼家」 『枕草子』 「二月つごもりごろに」	○	◎	○	a:課題に取り組んでいる d:登場人物の関係、行動、心情を理解する e: 句法理解のもとに適切な現代語訳ができる	a・d:行動の観察及び記述の点検 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　d:読む能力
e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置づけて○印を、またその単元で主として扱う国語の領域（「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。